

佐藤（旧姓青木）融くんの個展

三十九回生 増田 泰邦

●アバンギャルド

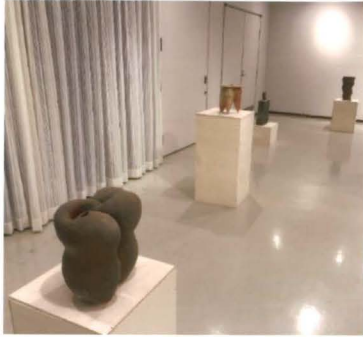
三十年続いた平成も押し迫った2019年3月末、阪急電鉄千里山線の吹田駅西口を出てすぐ、内環状線沿いの吹田市文化会館メイシアターの一室が、ダリカピカソの絵画の世界を立体にした様な、不可思議な空間になっていました。

湯呑み、皿、花瓶等の一般的な作品は、綺麗で色彩感が豊富で、会場に來られた中には、購入したい方もいました。が、市の施設では金額提示、販売は出来ないとの旨、残念がる様子の方もいらっしゃいました。

その作品の風貌は、抽象的でありながら重厚感があり、洋室か洋風の庭などに置くと存在感が増すと思われる。

特に大きな作品は力強く、佐藤くんがテーマにされていると言った「生命」が感じられるものでした。





●生命の力強さ
 作品のテーマは「土と植物」なので、作品の随所に地面や植物の芽、根っこといったものが表現されています。そもそも製作工程に於いても、窯用の薪も自分で山に入り、切り出してくるそう、本当になかなか大変な労力をかけて作品作りされているのが伝わってきます。作品を見られた他の方の感想では、人柄が出ている温かみのあるものだ、ということでした。



●あの頃

私は小さい時の青木君の印象しかなく、優しい男の子というイメージでしたが、絵画から陶芸の道の世界に進んだだけあって、立体的なフォルムの素晴らしさは一見の価値あり。

一中時代にサッカー部のディフェンダーで鍛えた足技だけでなく、陶芸の手技まで出来るとは・・・驚き！

また、地元の常滑焼だけでなく、信楽焼、清水焼、色々な製法にも詳しく、それこそ「XX焼き風に作って！」と御願いすれば、その通りの作品が出て来そうなコワイ位の見識の広さ、技術力は、底知れない可能性を感じさせてくれます。

五十年振りに再会した幼馴染は、今後の発展が楽しみな若手陶芸家になっていました。

文責 増田泰邦、

協力 長谷川元延、中原昌代、岡本均、伊藤徹、岩本和則

各位
名簿係の6竹ノ増田です。
3月末の佐藤(青木)融(どおる)くんの吹田凱旋
個展への応援、及び、3/28ケーゴジロ関大前
でのパーテー参加、ありがとうございます。
(合わせて前後して数々の不手際がありました事、
この場を借りましてお詫び申し上げます)

席上、お約束しました「名簿一覧」をお送りします。
(個人情報保護法のご時世ですので、廃棄される
時にご注意願います)



【会計報告】

入金 5,000 x 25名 = 125,000円
500 x 1名 = 500 (花代=中谷さん)

出金	
・お店	108,000
・花代	10,800
残金	6,700

精算

・名簿郵送料(@82 x 27名) 2,214
・千里山山会誌案内(2018.1)
(@180 x 25名) 4,500

50年振りの再会の機会を生かすべく、高橋先生の号令一下、岩本さん、伊藤さんに幹事役を担っていただき、次は、11月3日(日)で、企画中です。
名簿に載っていない方で、連絡の取れる方がおられましたら、お声掛けのほどよろしくお願致します。

※ メアドをいただければ、今回の写真を御案内致します。(LINEで共有されている方と同じです)



Profil
1955 大阪府出身。吹田市立千里第二小学校、吹田市立第一中学校、千里高校卒。
1975-76 多治見市陶磁器意匠研究所
1976-82 愛知県立芸術大学美術学部彫刻科専攻
1982- 愛知県立芸術大学卒業制作不合格作品展(名古屋YWCA)
1979-83 各地でアースワーク、インスタレーションを展開
1981- 現代美術・岡崎 1981 (岡崎市美術館)
1985- 国際反戦デー・反核集会で壁画パフォーマンス(名古屋栄公園)
1986- イラストレーション、陶芸教育普及活動に取り組む
2002-2010 NPO 法人愛知アートコレクティブ設立に参画(小牧アートコミュニティ 2003 参加等)
2003-2005 とこなめ国際やきものホームステイ実行委員会 (IWCAT) 代表委員
2008-2011 愛知芸術文化センター・アートプラザチーフプロデューサー
2016/2017/2019 シンガポールで“TOKONAME CERAMIC ART EXTENSION”を開催する事業(常滑市海外戦略事業)事務局
常滑陶芸作家協会・陶芸作家

【主な個展・グループ展】
常滑屋ギャラリー(愛知・常滑)個展
1997
ギャラリーCera(愛知・常滑)個展
1998・2001・2002・2005・2008・2012・2019
七葉(東京・自由が丘)個展
2003
うつわ薩彩いの(東京)個展
2002
ギャラリーCEPICA(愛知・常滑)個展
2005・2012
GALLERY APA(名古屋)2人展
2007 佐藤融・THAVORN KO-UDOMVIT
GALLERY 象家(愛知・長久手)個展
1999・2001・2004
Jalan Bahar Clay Studio Gallery(シンガポール)グループ展
2017
Visual Arts Centre(シンガポール)グループ展
2019

【陶芸講師】
NPO 法人ゆいの会(知多市)、社会福祉法人さふらん会ヨナワールド(名古屋)、市民大学ちた塾(知多市)、児童発達支援放課後支援デイサービスりんりん(名古屋)、エム・オー・ヒューマン隣い〜ま fit 松葉公園・千種・平針・引山(名古屋市)、南陵デイサービスセンター(常滑市)、欄の里 通所介護館(東海市)、あま市人権ふれあいセンター(あま市)、鳴子コミュニティセンター(名古屋)、ぶらな(名古屋)、のんびり(名古屋)、知多半島内小学校等。

青木融 (現・佐藤) 作品展

里帰り in 吹田 2019 ~常滑

日時： 2019年 3月 27日(水) 10時~20時
28日(木) 10時~17時
29日(金) 10時~18時

会場：吹田市文化会館 メイシアター 展示室

〒564-0041 吹田市泉町 2-29-1

入場無料



幼少時から育った千里山、竹やぶに囲まれた池やもろい土肌のむきでた横穴が遊び場でした。

高校を出て絵を描くことが好きで、桃山時代の志野焼に憧れ、美濃焼の聖地・岐阜県多治見市へ移り住み、大学では彫刻を学び今は、平安時代から続く日本六古窯の一つ常滑市で作品を作っています。

わずか3日間の展示ですが、ご都合宜しければぜひお立ち寄りください。

お問い合わせ先

Address: 〒479-0821 常滑市瀬木町 3-72 佐藤融
Tel: 0569-34-9205
携帯: 090-4084-7841 Email: ypdxg400@yahoo.co.jp



幼少時から育った千里山
竹やぶに囲まれた池や
土肌のまきでた横穴が遊び場だっ
た。
高校を出て絵を描くことが好きで、
桃山時代の志野焼に憧れ美濃焼の
岐阜県多治見市へ移り住み、
大学では彫刻を学び、
今は平安時代から続く
日本六古窯の常滑市で作品を作っ
ています。

青木融 (現・佐藤) 作品展

里帰りの吹田 2019～常滑

日時：2019年 3月27日(水)10時～20時

28日(木)10時～17時

29日(金)10時～18時



会場：吹田市文化会館×イシワタール展示室

〒564-0041 吹田市泉町2-29-1

入場無料 ※展示のみです。

お問い合わせ先

〒479-0821 愛知県常滑市瀬木町3-72 佐藤融
Tel:090-4084-7841 Email:ypdxg400@yahoo.co.jp